

ことわざと四字熟語に登場する野菜，果物をはじめとする食べ物について

平 智・荒川真美・佐々木ゆほ・丹野ゆか・山本貴子

山形大学農学部

e-mail : staira@tdsl.tr.yamagata-u.ac.jp

Food, such as Vegetables and Fruits, Appeared in Kotowaza (Japanese proverbs) and Yoji-jukugo (Four letters' idiom)

Satoshi TAIRA, Mami ARAKAWA, Yuho SASAKI, Yuka TANNO and Takako YAMAMOTO

Faculty of Agriculture, Yamagata University

Keywords : 果物，ことわざ，食べ物，野菜，四字熟語

ことわざは，古くから世間に広く言い伝えられてきた教訓や風刺，真理などを短く表現したものである。また，四字熟語は，ものごとの状況や人の感情などを簡潔に伝達する手段として利用されてきた。それらの中には，私たちの生活に身近な野菜や果物をはじめ，多様な食べ物がしばしば登場する。

著者らはこれまでに，国内外の著名な民話や童話，さらに文学作品などに登場する動植物や食べ物と人との関わりについて考察してきた（平ら．2009,2011a,b, 2012a,b, 2013）。その結果，これらの作品に登場する動植物や食べ物には，作品の舞台になった地域の歴史や環境ならびに作者が生まれ育った生活環境や時代背景あるいは地域の食文化などが少なからず反映していることが推察された。

本報告は，ことわざと四字熟語に登場する野菜や果物をはじめとする食べ物を抽出調査して，人との関わりからの視点から若干の考察を加えたものである。

野菜名は漢字表記とする。

調査方法

『ことわざ辞典 第3版』（土屋，2013a）に収録されている4600項目のことわざおよび『四字熟語辞典 第4版』（土屋，2013b）に収録されている四字熟語2700語を調査の対象にした。

まず，調査の対象にしたことわざと四字熟語中に登場したすべての食べ物を『五訂食品成分表』（香川，2002）に従って，①穀類，②いも類およびでん粉類，③砂糖および甘味料，④豆類，⑤種実類，⑥野菜類，⑦果実類，⑧きのこ類，⑨藻類，⑩魚介類，⑪肉類，

⑫卵類，⑬乳類，⑭油脂類，⑮菓子類，⑯嗜好飲料類，⑰調味料および香辛料類および⑱調味加工食品類に分類した。ただし，この基準によって分類できなかったものは，⑲その他とした。

さらに，ことわざと四字熟語中に登場した食べ物を，日常的に食べるものとそうでないものとに分類した。

これらの情報をもとにして，ことわざと四字熟語に登場する食べ物の種類と登場回数をまとめ，とくに野菜と果物に着目して考察を加えた。

調査結果と考察

1. 食べ物の種類と登場回数

1) ことわざ

4600項目のことわざに登場する食べ物の種類数は84種類で，登場回数は386回であった（第1表）。すなわち，4600項目の約8%に食べ物が登場することがわかった。そのうち，日常的に食べていると考えられる食べ物は63種類で，登場回数は341回であり，登場する食べ物の中の大半を占めた。

分類の結果，最も登場回数が多かった食べ物は魚介類の72回で，次いで，穀類の54回，以下，嗜好飲料類の41回，果実類の24回，調味料および香辛料類の22回，野菜類の19回の順であった（第1表）。また，登場回数が最も多かった食べ物は「水」の71回，次いで「魚」（総称）と「酒」（総称）の32回であった（第2表）。これら3種類の食べ物で全体の約半数を占めた。「水」は人が生活していくうえで最も必要不可欠なものであること，「魚」はさまざまな地域で日常的に食されていること，「酒」は嗜好飲料として最も親しまれてきたものの一つであることなどが，これらの食べ物の登場回数が多い主な理由であろう。

一方，登場する食べ物の種類は，魚介類が21種類

2015年2月26日受付。

第1表. 4600項目のことわざに登場する食べ物の種類数と登場回数.

食べ物の種類 ²	食べ物に関することわざ		日常的に食べるもの		日常的には食べないもの	
	種類数	登場回数	種類数	登場回数	種類数	登場回数
穀類	7	54	6	41	1	13
砂糖および甘味料類	0	0	0	0	0	0
いもおよびでんぷん類	2	7	2	7	0	0
豆類	4	7	4	7	0	0
種実類	1	3	1	3	0	0
野菜類	10	19	7	13	3	6
果実類	6	24	6	24	0	0
きのこ類	2	2	1	1	1	1
藻類	0	0	0	0	0	0
魚介類	21	72	12	57	9	15
肉類	2	8	2	8	0	0
卵類	1	5	1	5	0	0
乳類	0	0	0	0	0	0
油脂類	1	9	1	9	0	0
菓子類	2	3	2	3	0	0
嗜好飲料類	2	41	2	41	0	0
調味料および香辛料類	7	22	7	22	0	0
調理加工食品類	0	0	0	0	0	0
その他 ³	16	110	9	100	7	10
計	84	386	63	341	21	45

²食べ物の分類は、『五訂食品成分表』(香川, 2002)に基づく.

³その他は、『五訂食品成分表』によって分類できなかったもの.

第2表. ことわざに登場する食べ物の登場回数と種類.

登場回数	食べ物	食べ物の種類	登場することわざの例	登場回数	食べ物	食べ物の種類	登場することわざの例
71	水	その他	低い所に水溜まる		泥鰌	魚介類	柳の下にいつも泥鰌はいない
32	「魚」*	魚介類	網にかかった魚		鯉	魚介類	親を覗むと鯉になる
	酒	嗜好飲料類	林間に酒を焼めて紅葉を焼く		鯖	魚介類	鯖を読む
17	飯	穀類	同じ釜の飯を食う		河豚	魚介類	河豚食う馬鹿、食わぬ馬鹿
15	米	穀類	米を数えて炊ぐ		鯉節	魚介類	猫が肥えれば鯉節が痩せる
13	餅	穀類	餅は餅屋		饅頭	菓子類	心中より饅頭
9	油	油脂類	火に油を注ぐ		山椒	調味料および香辛料類	山椒は小粒でもびりりと辛い
	茶	嗜好飲料類	余り茶に福あり		雑魚	その他	網にかかるは雑魚ばかり
8	柿	果実類	貧乏柿の核沢山		塩辛	その他	明日食う塩辛に今日から水を飲む
	塩噌	調味料および香辛料類	敵に塩を送る		鱒	その他	鱒の尾頭つき
	味噌	調味料および香辛料類	医者と味噌は古いほどよい	1	パン	穀類	人はパンのみにて生きるにあらず
	瓜	その他	瓜二つ		蕎麦	穀類	蕎麦の花も一盛り
7	「肉」*	肉類	羊頭狗肉		黒豆	豆類	這っても黒豆
5	芋	いもおよびでんぷん類	芋を洗うよう		豌豆	豆類	豌豆は日陰ではじける
	「豆」*	豆類	鳩が豆鉄砲を食ったよう		葱	野菜類	鴨が葱を背負って来る
	豆腐	豆類	豆腐で歯を痛める		人参	野菜類	人参飲んで首縮る
	桃	果実類	桃李もの言わざれども下自ずから蹊を成す		大根	野菜類	大根役者
	鯛	魚介類	魚は鯛		牛蒡	野菜類	人の牛蒡で法事する
	卵	卵類	コロブスの卵		南瓜	野菜類	南瓜に目鼻
4	粟	穀類	粟一粒は汗一粒		松茸	きのこ類	匂い松茸、味しめじ
	蓬	野菜類	蓬頭垢面		しめじ	きのこ類	匂い松茸、味しめじ
	茄子	野菜類	秋茄子嫁に食わずな		牡蠣	魚介類	Rのない月の牡蠣はよくない
	梅	果実類	梅に鶯		鮎鱈	魚介類	鮎鱈の待ち食い
	蟹	魚介類	蟹の念仏		烏賊	魚介類	烏賊の甲より年の幼
	蛤	魚介類	雀、海に入つて蛤となる		鯉	魚介類	生け糞の鯉
	汁	その他	阿呆の三杯汁		蝦	魚介類	蝦は身を食う
3	麦	穀類	一粒の麦		鰻	魚介類	左鮮右鰻
	栗	種実類	火中の栗を拾う		鱈	魚介類	鱈軍で鮫を押さえる
	李	果実類	瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず		鯉	魚介類	目には青葉、山時鳥、初鯉
	鯛	魚介類	鯛で精進落ち		鯨	肉類	鯛網で鯨捕る
	鯉	魚介類	鯉登り		鮎	菓子類	鮎をしゃぶらせる
	牡丹餅	その他	棚から牡丹餅		ソース	調味料および香辛料類	空腹は最上のソース
	肴	その他	下戸の肴荒らし		酢	調味料および香辛料類	酢でも弱弱でも
	団子	その他	団子隠そうより跡隠せ		醤油	調味料および香辛料類	醤油で煮しめたよう
	菜	その他	物は言い残せ、菜は食い残せ		胡椒	調味料および香辛料類	胡椒の丸呑み
2	蒟蒻	いもおよびでんぷん類	蒟蒻で石垣を築く		膳	その他	羹に懲りて膳を吹く
	菊	野菜類	六日の昌蒲、十日の菊		蒲焼	その他	いらぬお世話の蒲焼
	水瓜	野菜類	水瓜の皮とも思わない		刺身	その他	酒は爛、肴は刺身、酌は暫
	筍	野菜類	雨後の筍		漬物	その他	漬物裏めれば嬶寝める
	葡萄	果実類	酸っぱい葡萄		蛭	その他	蛭の争い
	梨	果実類	日陰の梨		お茶漬け	その他	朝飯前のお茶漬け
	鮑	魚介類	磯の鮑の片思い				

*「」は総称を示すものとして表出しているもの.

で最も多く、次いで、野菜類の10種類であった(第1表)。以下、穀類と調味料および香辛料類がともに7種、果実類が6種の順であった。このように、魚介類、穀類ならびに野菜の種類数や登場回数が多いのは、多くのことわざで肉類の消費がまだ少ない時代の食生活がより色濃く反映されているからかもしれない。さらに、魚介類の種類数がとくに多いのは、各地域で獲れる魚などの海産物が多様であるためであろうと思われた。

これらのことから、ことわざには人が生活するうえで関わりの深い食べ物が多く登場しているのであろうと考えられた。

2) 四字熟語

2700語の四字熟語に登場する食べ物の種類数は32種類で、登場回数は134回であった(第3表)。このことから、2700語の約5%に食べ物が登場していることがわかった。そのうち、日常的に食べると考えられる食べ物は29種類で、登場回数は129回であり、登場する食べ物うちの大半を占めた。

分類の結果、最も登場回数が多かった食べ物は、果実類の19回、次いで、肉類の18回、以下、魚介類が16回、嗜好飲料類が15回、穀類が9回、野菜類が8回の順であった(第3表)。また、登場回数が最も多かった食べ物はことわざと同様に「水」の31回、次いで、「肉」の17回、以下、「魚」の13回、「酒」の12回であった(第4表)。このように「水」、「魚」ならびに「酒」が多く登場したが、その理由はことわざとほぼ同様であるとと考えられた。ただし、ことわざに「肉」はわずかな回数しか登場しなかったのに対して、四字熟語にはしばしば登場した。これは、「肉」がお祝い事するときなどに食される特別なものであることとも関連しているかもしれない。また、「走尸行肉」や「中肉中背」などのように食べ物としての肉ではなく、身体を表す

語として用いられる場合も複数認められた。

種類については、穀類、野菜類、果実類および魚介類が他よりも多かったが、いずれも4種類のみであった(第3表)。これは、ことわざと同様に、これらの食べ物が古くから日常的に食されているためであろうと考えられた。

以上のことから、四字熟語にもことわざとほぼ同様に、日常的に食されている食べ物が多く登場することがわかった。

2. 登場する野菜と果物の特徴

1) ことわざ

ことわざに登場する野菜類と果実類の種類数と登場回数はあまり多くなかったが、両者についてももう少し詳しくみてもみると、野菜類で登場回数が最も多かったのは、茄子と蓬の4回、次いで、糸瓜、筍および菊の2回、葱と人参、牛蒡、大根および南瓜の1回の順であった(第1図)。また、ことわざに登場する野菜類のほとんどは食べ物として登場するが、茄子に限っては「親の意見と茄子の花は千に一つも無駄はない」のように、植物体を表す言葉として表出しているものもあった。

一方、果実類の登場回数は、柿の8回、次いで、桃の5回、梅の4回、李の3回、葡萄および梨の2回の順であった(第1図)。野菜類と同様に食べ物として登場するものが多い傾向が認められたが、木や花など植物体の一部を示すものとして登場する例もかなり多く認められ、この点は野菜類の場合と異なっていた。その例として、「驚き、桃の木、山椒の木」や「楠の木分限、梅の木分限」、「梅一輪一輪ずつの暖かさ」などが挙げられる。

2) 四字熟語

第3表. 2700語の四字熟語に登場する食べ物の種類数と登場回数.

食べ物の種類 ²	食べ物に関する四字熟語		日常的に食べるもの		日常的には食べないもの	
	種類数	登場回数	種類数	登場回数	種類数	登場回数
穀類	4	9	4	9	0	0
砂糖および甘味料類	1	3	1	3	0	0
いもおよびでんぷん類	1	1	1	1	0	0
豆類	1	1	1	1	0	0
種実類	1	2	1	2	0	0
野菜類	4	8	3	5	1	3
果実類	4	19	4	19	0	0
きのこ類	0	0	0	0	0	0
藻類	0	0	0	0	0	0
魚介類	4	16	2	14	2	2
肉類	2	18	2	18	0	0
卵類	1	1	1	1	0	0
乳類	0	0	0	0	0	0
油脂類	2	3	2	3	0	0
菓子類	0	0	0	0	0	0
嗜好飲料類	2	15	2	15	0	0
調味料および香辛料類	1	1	1	1	0	0
調理加工食品類	0	0	0	0	0	0
その他 ³	4	37	4	37	0	0
計	32	134	29	129	3	5

²食べ物の分類は、『五訂食品成分表』(香川, 2002)に基づく。

³その他は、『五訂食品成分表』によって分類できなかったもの。

第4表. 四字熟語に登場する食べ物の登場回数と種類.

登場回数	食べ物	食べ物の種類	登場する四字熟語の例
31	水	その他	飲水思源(いんすいしげん)
17	「肉」*	肉類	酒池肉林(しゅちにくりん)
13	「魚」*	魚介類	得魚忘筌(とくぎよぼうせん)
12	酒	嗜好飲料類	紅灯緑酒(こうとうりょくしゅ)
9	李	果実類	桃李成蹊(とうりせいけい)
8	桃	果実類	投桃報李(とうとうほうり)
3	飯	穀類	一宿一飯(いっしゅくいっばん)
	蓬	野菜類	蓬頭垢面(ほうとうこうめん)
	菊	野菜類	六畜十菊(りくしゅうじゅうぎく)
	蜜	砂糖および甘味料類	甘言蜜語(かんげんみつご)
	茶	嗜好飲料類	日常茶飯(にちじょうさはん)
	肴	その他	山肴野蔭(さんこうやそく)
2	「穀」*	穀類	五穀豊穰(ごこくほうじょう)
	麦	穀類	菜園麦隴(さいぼくろう)
	粟	穀類	滄海一粟(そうかいのいちぞく)
	粟	種実類	火中之粟(かちゅうのくり)
	菜	その他	一汁一菜(いちじゅういっさい)
	脂	油脂類	面脂鏡水(がしろうびょう)
1	蒟蒻	いもおよびでんぷん類	蒟蒻問答(こんやくもんどう)
	「豆」*	豆類	寸馬豆人(すんばとうじん)
	葱	野菜類	鬱鬱葱葱(うつうつそうそう)
	瓜	野菜類	瓜田李下(かでんりか)
	梅	果実類	梅妻鶴子(ばいさいかくし)
	梨	果実類	梨園弟子(りえんのていし)
	糖	その他	糟糠之妻(そうこうのつま)
	鰯	魚介類	鰯寡孤独(かんかごどく)
	鮒	魚介類	鮒鮒之急(てつぷのきゅう)
	鱸	魚介類	尊羹鱸膾(じゆんこうかい)
	鯨	肉類	鯨飲馬食(げいいんばしょく)
	卵	卵類	果卵之危(るいらんのき)
	油	油脂類	油断大敵(ゆだんたいてき)
	味噌	調味料および香辛料類	手前味噌(てまえみそ)

*「」は総称を示すものとして表出しているもの。

四字熟語に登場する果実類の登場回数が19回と最も多かったのに対して、野菜類は8回であり多くなかった。野菜類のうち、登場回数が最も多かったのは蓬と菊の3回で、次いで、葱と瓜の1回であった(第2図)。

果実類の登場回数が最も多かったのは李の9回で、次いで、桃の8回、以下、梅と梨が1回ずつであった(第2図)。果実類の中で最も多く登場した李は、「張王李趙」や「張三李四」というように、果実としての李ではなく、中国人の姓名として表出する例も認められた。また、李と桃の両方が同時に登場する四字熟語が五つ認められた。これらの熟語では李と桃がセットで用いられ、例えば、「投桃報李」は、桃が贈られてくればそのお礼に李を贈り返すという意味を表し、「桃李成蹊」は、桃や李の木の下には実の美味しさに惹かれて集まった人によって道ができるという意味を表している。

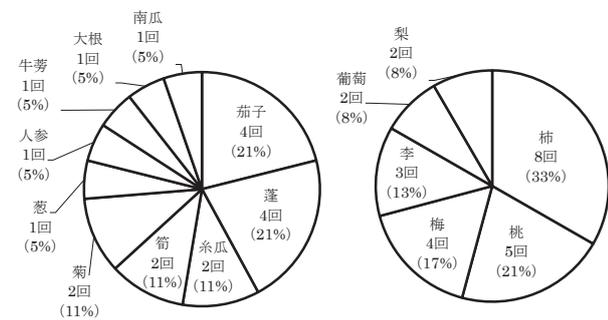
3. まとめ

『ことわざ辞典 第3版』と『四字熟語 第4版』に登場する野菜、果物をはじめとする食べ物について調査した結果、ことわざと四字熟語に登場する食べ物にはいくつかの共通点と相違点があることがわかった。

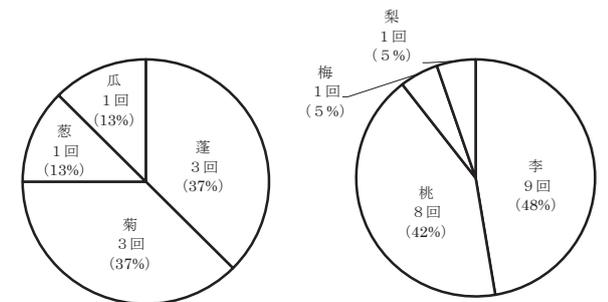
共通点として、①「水」と「魚」の登場回数が多いこと、②日常的には食べないものより日常的に食べるものの種類数と登場回数が多いこと、③藻類や乳類ならびに調理加工食品類は登場しないこと、の3点が挙げられる。

相違点としては、①「肉」がことわざにはわずかな回数しか登場しなかったのに対して、四字熟語にはしばしば登場すること、②ことわざに登場する食べ物の種類数と登場回数が四字熟語に比べて多いことの2点が挙げられる。なお、①の理由についてはよくわからなかった。

以上のように、ことわざと四字熟語は私たちの生活に身近な食べ物が多く登場していることがわかった。



第1図. 『ことわざ辞典 第3版』に登場する野菜類(左)と果実類(右)の登場回数。()は全体に占める割合を示す。



第2図. 『四字熟語辞典 第4版』に登場する野菜類(左)と果実類(右)の登場回数。()は全体に占める割合を示す。

引用文献

香川芳子. 2002. 五訂食品成分表. 女子栄養大学出版部. 東京.

平 智・川野美保・山崎雪恵・小岩井優・宮沢喜一. 2009. 日本民話やグリムおよびアンデルセン童話に登場する果実や野菜をはじめとする食物について. 農業および園芸 84(7):715-722.

平 智・村岡 翼・渡邊奈穂子・木村正勝・小林恵美・奥山史洋. 2011a. 藤沢周平の作品に登場する果物と野菜をはじめとする食べ物について. 人植関係学誌. 10(1):35-37.

平 智・今井健治・小笠原千晶・菅井元基・匹田直宏・

- 深澤美幸. 2011b. 『おくのほそ道』に登場する動植物について. 人植関係学誌. 11(1):17-19.
- 平 智・北原裕理・原理恵子・村岡睦美. 2012a. 宮沢賢治の童話作品に登場する植物について. 人植関係学誌. 11(2):15-17.
- 平 智・木村直道・佐藤祐樹. 2012b. 『遠野物語』および『遠野物語拾遺』に登場する植物と食べ物について. 人植関係学誌. 12(1):25-28.
- 平 智・秋元彩夏・小早川実奈・結城素子. 2013. 短歌に登場する自然を表す言葉や動植物ならびに食べ物からみた齊藤茂吉の自然観について. 人植関係学誌. 13(1):23-25.
- 土屋 徹. 2013a. ことわざ辞典第3版. 学研教育出版. 東京
- 土屋 徹. 2013b. 四字熟語辞典第4版. 学研教育出版. 東京.